

## 大型連休です！

5月が始まりました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。一方、長い連休があり生活が乱れがちになってしまうので、生活リズムを崩さないよう注意しましょう。

また、お出かけの機会やお客様をお迎えする機会も増えるかもしれません。楽しい連休でありますように。連休明けから新型コロナウイルスがインフルエンザと同等の扱いになる予定ですが、飲んだり食ったりする前にはしっかり手洗い&消毒。人混みを避けるなど予防しましょう。体調が変だなと思ったら受診し、無理をせずに過ごしましょう。

## 尿検査をします

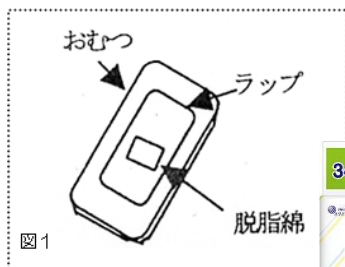
尿検査は一般検査の中心で、尿中のいろいろな細胞、たんぱく質、糖などによってカラダの基本情報をさぐる検査です。

おしっこは、腎臓が血液によって体中から運ばれてきた不要な物を余分な水分とともに排泄するものです。従って、カラダのどこかに異常があると、排泄されるべきものがされていなかったり、排泄してはいけないものがおしっこに混じってしまったりします。

尿の検査は、腎臓や尿路の病気を発見するのが第一の目的ですが、その他の器官の機能を知る事もできるのです。具体的には、腎臓や膀胱の異常、糖尿病、肝臓病、膠原病(こうげんびょう)、骨髄腫、悪性腫瘍などを発見する手がかりとなります。

## 尿の採り方

- ☆ 配布された容器を使って、朝1番の尿を取ります。
- ☆ 尿の量は容器の線まで入れてください。量が少なすぎると検査ができません。
- ☆ おしっこの自立がまだのお子さんは、就寝前にオムツの上にラップ(ビニールなども可)を敷いて、その上に脱脂綿(厚さ1cmくらい、約3cm四方)をのせて当ててください。脱脂綿の大きさはお子さんに合わせましょう【図1参照】
- ☆ 翌朝、脱脂綿を取り出して、丸めて清潔な容器にしぼってください。その後、検査容器に吸い込みます。
- ☆ トレーニングパットを代用する方法もあります。
- ☆ 大便が混じったときは翌日採りなおしてください。新しい採尿容器は事務所にありますので、申し出てください。



**今月の保健行事** 身体測定 1日(月)・2日(火)  
 尿検査 9日(火)・10日(水) 30日(火)・31日(水)  
 内科健診 23日(火)・24日(水) 13:30~

# 体育遊びだより

とっさに手を出したり頭を守るために反らしたりすることです

## 年齢別のわらいと運動発達の特徴

- 0,1歳：応答的な関わりで**情緒の絆を結ぶ**  
 周囲への興味関心から目当てに向かって歩き始め、ぶら下がろうとしたり、少し高い所に登ろうとする。**保護伸展反応**を促すための動きや手指をしっかりと開いて着くハイハイをたくさん楽しむ。
- 2歳：**身体を動かすことが大好きになるスイッチを入れる**  
 群れて遊ぶことを好んでし始めるので、平行遊びから共感遊びへと導く。ハイタッチによる共感やスキンシップによって自尊感情は高まり、仲間との共感力も高まる。仲間と体を動かす事を楽しむ
- 年少：**共感性の高い体育遊びを楽しむ**  
 心身の力みをとる遊びを十分楽しむ事で身のこなしが一層よくなる。兄弟への憧れからどうすればできるようになるのかと興味かわき、観察力や発見力が向上。自発的積極的に活動に向かう。
- 年中：**年長への憧れから向上心にスイッチを入れる**  
 コツをつかむ力や伝達力が高まり、遊び方や上達のコツを互いに教え合うようになる。仲間意識を高めるよう導くと集団で活動する喜びが高まり、挑戦したい・達成したいという意欲が高まる。
- 年長：**「燃える集団」になって互いに高め合う**  
 互いの個性を認め合い、役割分担と協力が必要な複雑な遊びも熱中して取り組めるようになる。社会性が育ち、意見の食い違いを解決しようとする意欲や、これまで培った共感力を発揮し仲間を励ましたり教え合ったりする。得意な遊びに熱中し、互いに刺激し合い、自ら自尊感情を満たすことができるようになる。



## お友だちとの共感性を高め、思い出を子どもの記憶に残すビデオ・写真の撮り方

今月はファミリー体育遊び Day があります。行事の時には、お子さんの様子を動画に残される方も多いですね。自分のお子さんだけを追いかけてZOOMで撮るのではなく、我が子が仲良くしている友だち、一緒に頑張っている子もぜひ撮ってあげてください。当日、子ども達はそれぞれ自分の順番に一生懸命ですから、一緒に頑張った仲間の姿を観る余裕などありません。お友だちの映像も一緒に撮ってあげれば、子どもは自分が気付かなかったことにも興味関心を持ち、その時の状況や仲良くしている子の様子、周りの雰囲気を感じ取り、明日からの活動に活かしていくことでしょう。

映像を見ながら自分の気持ち、お友だちの様子、今までどれだけ練習してきたかなど子どもなりのエピソードを家族に楽しそうに語ってくれるでしょう。自分の映像ばかりでは絶対にできない会話です。

行事で自分の気づかなかった事を知るのですから、子どもにとっては人生経験そのものです。そうやって友だちの活動や全体の様子を見ることは、人への興味関心が高まり、他者が気になる、他者を気に掛けられる、一緒に遊ぶことができる、嬉しい、悲しい、楽しいといった感情を友達と共感できる社会性へと繋がっていきます。ぜひ貴重な映像として残してあげてください。その時に、お家の方の応援の声も一緒に入っていると素敵ですね。

